

パスパ文字の字母表

\*\*\*\*\*

子音

1 𑖀 g	2 𑖂 k'	3 𑖄 k	4 𑖆 ŋ			
5 𑖈 d	6 𑖊 t'	7 𑖌 t	8 𑖎 n	9 𑖐 l		
10 𑖒 b	11 𑖔 p'	12 𑖖 p	13 𑖘 m	14 𑖚 f (𑖚 f1奉, 15 𑖛 f2非敷)	16 𑖜 v	
17 𑖞 ɟ	18 𑖠 č'	19 𑖡 č	20 𑖣 ñ	21 𑖥 ś (𑖥 ś1禪, 22 𑖦 ś2審)	23 𑖨 ž	
24 𑖪 j	25 𑖬 c'	26 𑖮 c	27 𑖰 s	28 𑖲 z		
29 𑖴 ·	30 𑖶 h (31 𑖷 h1匣, 𑖸 h2曉)	32 𑖹 γ	33 𑖻 y (𑖻 y1喻, 34 𑖼 y2幺)			
35 𑖽 '	36 𑖿 r	37 𑗀 q				

半母音

38 𑗂 ü	39 𑗄 ĩ
--------	--------

母音

40 𑗆/𑗇 u	41 𑗈or 𑗉/𑗊or 𑗋o	42 𑗌/𑗍 i	43 𑗎or 𑗏/𑗐or 𑗑é	44 𑗒 e
----------	-----------------	----------	-----------------	--------

\*\*\*\*\*

- 凡例：1. 本表は『法書考』『書史会要』の44字母を整理したものである。サンスクリット語・チベット語の専用字母は未収。
2. ( ) で括ったものは四組ある。14 𑖚f (𑖚f1奉, 15 𑖛f2非敷)、21 𑖥ś (𑖥ś1禪, 22 𑖦ś2審)、30 𑖶h (31 𑖷h1匣, 𑖸h2曉)、33 𑖻y (𑖻y1喻, 34 𑖼y2幺)。括弧の中の15 𑖛f2、22 𑖦ś2、31 𑖷h1、34 𑖼y2は中国語専用の字母であり、14 𑖚f、21 𑖥ś、30 𑖶h、33 𑖻yに変形を加えたもの。中国語でも、この両者を区別する資料と区別しない資料がある。区別する場合は、𑖚f1と𑖛f2、𑖥ś1と𑖦ś2、𑖷h1と𑖸h2、𑖻y1と𑖼y2のように、数字の1と2を付して区別する。区別しない場合は、𑖚f、𑖥ś、𑖶h、𑖻yのように数字を付さない。なお、数字の1とある方が濁音の系統で、2とある方が清音の系統。
3. 表中のローマ字が表わす子音は次のようになっている。1 𑖀gや5 𑖈dなどの系統は「濁音（有声音）」、2 𑖂k'や6 𑖊t'などの系統は「息の出方の強い清音（無声帯気音）」、3 𑖄kや7 𑖌tなどの系統は「息の出方の弱い清音（無声

無気音)」である。パスパ文字は主にチベット文字に拠って作られたものであり、このローマ字の示す音もまたチベット文字の音を想定している。これをモンゴル語や中国語の表記に用いる場合、次のような対応となる。

モンゴル語には、有声音（軟音）と無声（硬音）の二種の子音があり、パスパ文字は次のように対応する。

モンゴル語音→	有声音	無声音	(借用語)
	1ᠭ g	2ᠬ k'	3ᠮ k
	5ᠳ d	6ᠲ t'	7ᠷ t
	10ᠪ b	11ᠫ p'	12ᠯ p
	17ᠢ ṣ	18ᠬ ṣ'	19ᠴ ṣ̣
	24ᠵ j	25ᠴ c'	26ᠵ c

モンゴル語の有声音を「チベット文字の有声音に由来する」パスパ文字で表記し、モンゴル語の無声音を「チベット文字の無声帯気音に由来する」パスパ文字で表記する。右端の「チベット文字の無声無気音に由来する」パスパ文字は、主に中国語などの外国からの借用語の表記に使用する。

中国語には、濁音（有声音）と息の出方の強い清音（無声帯気音）と息の出方の弱い清音（無声無気音）を想定し得る三種の子音の枠組みがあり、パスパ文字は次のように対応する。

中国語音→	無声無気音	無声帯気音	有声音
	1ᠭ g	2ᠬ k'	3ᠮ k
	5ᠳ d	6ᠲ t'	7ᠷ t
	10ᠪ b	11ᠫ p'	12ᠯ p
	17ᠢ ṣ	18ᠬ ṣ'	19ᠴ ṣ̣
	24ᠵ j	25ᠴ c'	26ᠵ c

無声無気音と有声音において、中国語と「チベット文字の無声無気音と有声音に由来する」パスパ文字との対応は逆になる。

4. 母音の40ᠤ/ᠤ u、41ᠤ or ᠤ or ᠤ or ᠤ、42ᠨ/ᠨ i、43ᠨ or ᠨ/ᠨ or ᠨ について。スラッシュ (/) の左側の字形は、前に他の子音が付かない場合の字形である。スラッシュの右側の字形は、前に子音が付く場合の字形である。
5. 母音 a を表わす専用の文字はない。各種子音の後および半母音 (ü と i) の後に、他の母音が無い場合は、母音 a を補う。したがって、子音だけの g や、子音に半母音が後置した gū や gī などが書かれている場合、それぞれ母音 a を補い、ga, gūa, gīa などのようにする。